

鷺浦遊歩道（国立公園）

鷺浦遊歩道は町の西側にある海岸から始まり、鷺浦港を見渡せる西側の丘の上まで巡回し、その高い場所から素晴らしい海岸線の光景を俯瞰できる 2.5 キロメートルのルートである。中間地点付近に、梅灘という人里はなれた海辺に続く脇道がある。本道は鷺浦灯台まで続き、ここでは複雑に入り組んだ島々や海岸沿いの小さな洞穴の全景を眺められる。灯台の立つ崖には、その地域で最も大きい海蝕洞がある。

道沿いには主にスギが生育しているが、ヤマモモ、クリ、シナアブラギリ、ヤブツバキなどの花を咲かせ実をつける木々も印象的だ。この地域では野生のシカやイノシシも生息している。